

# ホリホリの旅の絵日記

堀道広 文・絵  
Hori Michihiro

vol.004

雨に濡れて冷えた骨身に  
しょっぱい海の味の温泉を



「とりあえず、あいつ、焼津」と何度も言う  
とラップっぽく聞こえるな……と、考えながら私は東海道本線に乗車しました。

「あいつ」とはカツオのこと。カツオに目がない私は、カツオの漁獲量全国一位を誇る焼津で下車しました。駅前には円形の足湯があり、私を迎えてくれました。真ん中にある像は当然カツオだと思っていたら、よく見るとカジキでした。ちなみにカジキはカツオやマグロを食べる魚食性の魚だそうです。「マジでか、カジキめ、メカジキ、マカジキ……」私はカツオを求め、タクシーで「焼津さかなセンター」に向きました。しかし、残念ながらシーズンではなく、売り場には生のカツオはどこにもありませんでした。

帰りは歩きです。歩いている最中、急な土砂降りに降られてしまったので、「メインは真珠、でも喫茶」という珍しい喫茶店に入りました。コーヒーを注文したら、塩もみしたきゅうりが付いてきて驚きました。

その後、駅近くの日帰り温泉施設に行き、冷えた体を温めました。お湯には海水の約半分の濃度の塩分が含まれているそうで、舐めると海のしょっぱい味がしました。



ほりみちひろ ● 1975年、  
山県生まれ。うるし漫画家。98年「月刊漫画ガロ」でデビュー。  
漆職人としての経験を生かし、  
金継ぎも手がける。最新刊は『おうちでできるおおらか金継ぎ』  
実業之日本社)。

\*漫画家の堀道広さんとほりのぶゆきさんが代わる代わる旅をする連載です